

業連だより

2月9日、業務連絡会議が開催された。富澤理事長の挨拶に続き、大越副理事長の進行で、協議事項の審議に入った。第1号議案「平成29年度公益法人偕行社事業計画書（第2次案）」について廣瀬総務委員長から、第2号議案「平成29年度公益法人偕行社収支予算書（第2次案）」について古屋財務委員長から、それぞれ説明があり、協議に入った。修正なく了承され、次回の理事会に諮られることになった。

白石副理事長から「将来検討委員会の検討状況」について報告があった。将来態勢のたたき台（総務委員長案）をもとに議論を進め、基本事項について概定し主要考慮事項について議論を進める予定である。

入会促進特別委員長から、3月10日（金）グランドヒル市ヶ谷で開催予定の「第4回偕行社元幹部自衛官会同」計画について報告があった。

続いて若木事務局長から内閣府へ「平成29年度公益法人偕行社事業計画書（第2次案）」、「平成29年度公益法人偕行社収支予算書（第2次案）」及び「将来検討（組織・事業の見直し）の状況」について報告・調整した結果の概要が報告された。

次いで、継続検討中の「偕行社会員の名称変更」に関し、若木事務局長から、その後の意見聴取について、現状報告があった。「準会員の名称は、対外的にも正式な偕行社会員ではないとの印象を与える」、あるいは「現在の準会員も今後偕行社を支える有力な会員であり、それなりに位置付ける」などの意見を踏まえ、定款（第47条）から「準会員」を削除し、「普通会員、家族会員、賛助会員及び名誉会員」に変更する方向で検討を継続することで了解を得た。

「第9回陸自幹部学校学生との交流会」（2月14日開催）の計画について報告があった。今後偕行社の将来を考える上で、将来の高級幹部との交流は重要であり、更に相互理解を深めるべきである。西宮正泰氏（陸士53）「帝国陸軍の将校団について」の講話が予定されている。幹部学校からの参加は、副校長手塚信一陸将補以下33名の予定である。

また、偕行社の歌として「偕行百年」（作詞中茶六郎、作曲須磨洋朔）を広めていくこと及び講師派遣費の目的と現状について説明があった。

最後に、熊谷慰霊・援護委員長から第6回軍馬・軍犬・軍鳩合同慰霊祭（4月2日開催）について紹介があった。